

とうふねこ座：市川雅子 画

# まちがいさがし クイズ

## 問題

左右の絵を見くらべて、  
まちがいを8カ所見つけてください。

### 応募方法

ハガキまたはファクスに、答え(右の絵に○をつける)と住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・広報紙の感想などを書いて応募してください。なお、当選者のお名前を広報がまごおり11月号に掲載しますので、ご了承ください。

### 送り先

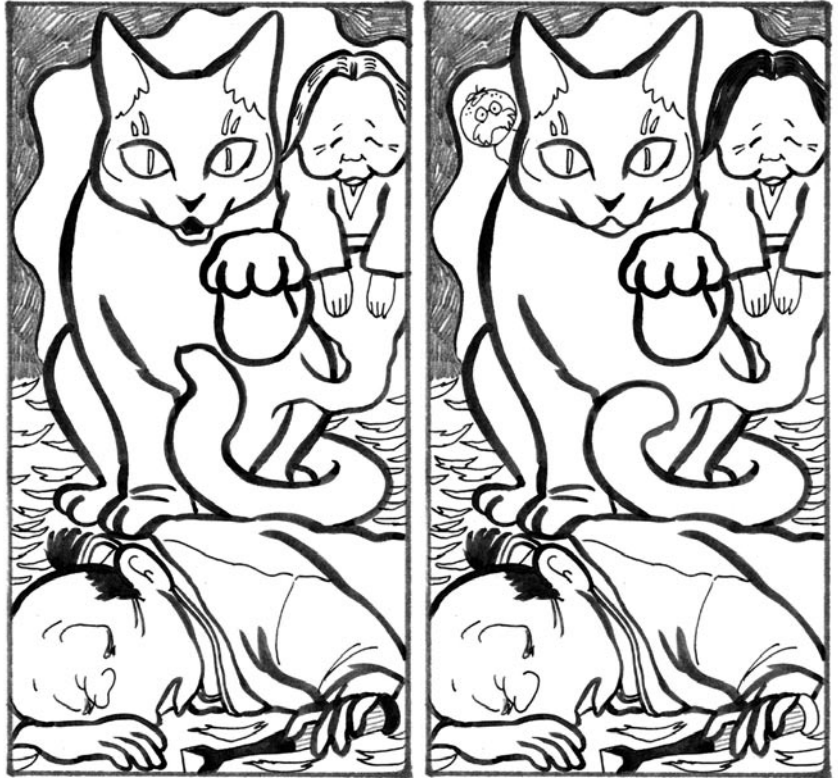
〒443-8601 旭町17番1号  
企画広報課「クイズ」係  
FAX66♦1190

### 応募締切

9月15日(水)当日消印有効

### プレゼント

全問正解された方のうち、抽選で10人の方にクオカードもしくはユトリーナバーデゾーン無料利用券をプレゼントします。なお、賞品は11月初旬ごろ郵送します。



### 「木彫りのねこ」(清田町)

清田に寅之助という子がいた。父親が小刀を買ってくると寅之助は木切れて猿などを上手に掘れるようになった。

ある日、寅之助の家に有名な彫り物師が立ち寄り、熱心に木彫りの修行を勧めた。両親は反対したが寅之助が涙を流して頼むのでしぶしぶ行くことを許した。

家を出て5年が過ぎ、母親から手紙が届いた。「一月前、おとつが木の下しきになり動けなくなっていました。薬代は高くて3つの蔵のうち2つは売ってしまった。今は一人息子の前が頼りじゃ、早く帰ってきておくれ。」親思いの寅之助は、木彫りの道具一式を持ってその日のうちに師匠のもとを去った。

寅之助が家に帰ると父親は亡くなっていた。寅之助が呆然としていると「このきたないうすはなんだ。こんなうすは持って帰っても焚き物くらいしかならないので置いていけ。」と金貸したちがたつた一つ残っている蔵からお金になりそうなものを持ち出していった。寅之助がうすを家の中に運び込もうとしたとき、どんな木にも魂があるという師匠の言葉を思い出した。そう思うと寅之助はこのうすをかわいそうに思い、いっしんに朝から晩まで彫り続け一匹の猫を彫り上げた。それは見事なものだった。

その夜、寅之助の夢枕におばあさんが現れ「わしは隣の家にいた猫です。死んで大きなくすの木の下に埋められ、木の精になりました。そのくすの木であのうすが作られました。古くなりもう灰になるしかないと諦めていましたが、また猫に戻ることができました。ありがとございしました。」とおばあさんは喜んだ。

その後、木彫りの猫に守られたのか仕事は増え、村でも評判の娘が嫁に来ていつまでも幸せに暮らしたそうだ。

### 7月号の答え

7月号クイズまちがいさがし  
(生首が笑った話)の答え  
応募総数75通  
正解者73人  
当選者 敬称略・50音順  
八百富町 上田峰子  
豊岡町 小田幸子  
形原町 加藤晃子  
西浦町 壁谷孝志  
府相町 杉浦郁子  
三谷町 杉浦里歩  
豊岡町 本郷妃奈子  
竹谷町 間瀬勇武  
御幸町 八木優羽  
豊岡町 柳沢伶奈  
おめでとございします。賞品は9月初旬に発送します。

